

## 伊崎漁港ミニ講座 ～伊崎漁港ってどんなところ？～

唐人町商店街振興組合  
日曜フリマ実行委員会

### ●黒田藩の御用浦という福岡唯一の格式高い漁港

伊崎漁業の始まりは、およそ 400 年前、1615～1623 年頃。黒田藩は、幕府からの使者を接待する魚介類を調えるため、遠賀郡芦屋で漁業を営んでいた長州伊崎浦(現・下関市伊崎町)の石井六兵衛に魚介類献上を申しつけ、六兵衛はその役目を果たし、以後、黒田藩のお抱え漁師となり、福岡城下「うしろが浜」に居を構え、**出身地の名をとって伊崎浦**となづけたと伝えられている。それ以来、伊崎浦の住民は漁業に従事し、**黒田藩の御用浦**となり、いずれの浦でも漁業が許され、他の浦から羨望の的になっていた。

### ●勇敢さ、技術は博多湾内随一

明治、大正、昭和と沖合い出漁に積極的だった伊崎の漁業者は、**その綿密な計画、勇敢さは世に高く評価**されていた。また、明治 24 年には伊崎浦救護班が発足して難破船救助に大いに活躍することになる。

### ●沖合出漁から湾内漁業に転向

昭和 24 年に沖合出漁は次第に姿を消し、博多湾内での延縄と釣漁業に転向した。昭和 30 年代からは**博多湾内のアナゴ延縄が主体**となった。伊崎の延縄は伝統的な技術もあって生産性が高く、漁家の収益も高くなった。

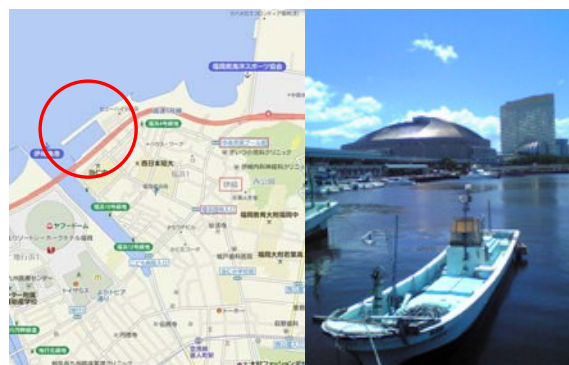
### ●新港に移転し、なおも活気に満ちた都市型漁港に

昭和 62 年に新しい船溜まりに移転。博多湾内の能古島沖合から玄海島沖合へかけて、タコ、アナゴ、クルマエビ、カレイ、シャコ、メバルなどが主な対象。エビ漕網(こぎあみ)では関東、関西への出荷も多い。

#### 【主な行事】

- ・伊崎の夕市 毎週土曜日 15 時～
- ・玉せせり 1 月 10 日
- ・地藏参り 8 月 16 日

出所) 福岡市漁村史



以上